

CASBEE-建築(新築)2014年版
福岡市中央区長浜2丁目計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.40		-			2.9
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.2	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	2.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	住居部分: Lr-40	-	-	5.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		2.0	0.35	2.3	1.00			2.3
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.7	0.50			
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63			
2 外皮性能	住居部分: 5-1 断熱性能等級4	3.0	0.38	5.0	0.38			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境		3.3	0.25	3.0	1.00			3.0
3.1 屋光利用		4.2	0.30	3.0	0.50			
1 屋光率	共用部分: 屋光率2.8%	5.0	0.60	3.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.50			
1 屋光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.2	0.25	3.5	1.00			3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	内装仕上材、天井裏等にF☆☆☆☆の建材を使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.0	0.40	2.6	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保	-	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.0
1 機能性		3.0	0.40	2.6	1.00			2.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.4	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	免震装置の導入	5.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	二丁掛けタイル及びアクリル系吹付タイルの採用(耐用年数:30年以)	4.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給排水管等に架橋ポリエチレン管及びVP管の採用(耐用年数:30年)	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	-
1	階高のゆとり	基準階階高:2.96m	-	-	4.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		敷地内に公開空地を設置し、親しみやすい歩道スペースの提供	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		住居部分:5-1 断熱性能等級4	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.86	5.0	0.50	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	1.0	-	-	-	-
		集合住宅の評価(3c)	5.0	1.00	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価	-	-	-	-	-
		4.1 モニタリング	-	-	-	-	-
		4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-
		集合住宅の評価	3.0	1.00	-	-	-
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-	-
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水機器の採用	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
		1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	-
		2 雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメントの採用	5.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		GL工法の採用	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-
		1 消火剤	-	-	-	-	-
		2 発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	-
		3 冷媒	3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率70%	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	-
		1 雨水排水負荷低減	-	-	-	-	-
		2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-	-
		3 交通負荷抑制	4.0	0.33	-	-	-
		4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
		1 騒音	3.0	1.00	-	-	-
		2 振動	-	-	-	-	-
		3 悪臭	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
		1 風害の抑制	3.0	0.70	-	-	-
		2 砂塵の抑制	1.0	-	-	-	-
		3 日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	-
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	-
		2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	-